

地域おこし協力隊“奔走中”

地域振興係

11月22日は「いい・ふじ」にちなんで「長野県リンゴの日」ということで、私の静岡県沼津市の活動拠点でもあるコーヒー屋さんで、立科町のリンゴ（サンふじ）を知ってもらうためのイベント「TATESHINA APPLE FAIR 2023」を開催しました。

今年は4月に降霜や低温に見舞われ、りんごの生育に大きな被害を受けてしまいましたので、例年に比べ収量も少なくサイズも小玉なものになりましたが、味わいは通常サイズのものに比べても退けをとらない、絶妙な甘味と酸味のバランス、何といてもシャキシャキ感がたまりません。（立科町に移住するまでは、こんなにも新鮮なリンゴを食べられる機会はありませんでした。）

3日間のイベントを通じて、多くの住民や国内外の観光客の方にもリンゴを買って頂き、「小ぶりなリンゴは食べきりサイズでちょうど良い！」という声や、中には「とても美味しかったので今日も買いにきました！」といった嬉しいお言葉もいただきました。

今回のイベントに来ていただいた方が、ふとした時に立科町のリンゴは美味しかったなと思い出してもらえると嬉しいです。

これからも町内だけではなく町外からも立科町を知ってもらえるようなイベントや活動もしていけたらと思います。2024年もよろしくお願いたします！



●移住促進担当
秋山 晃士です。

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。具体的な活動内容や条件、待遇等は各自治体により様々ですが、総務省では、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に対して隊員1人あたり480万円を上限として財政措置を行っています。（参照：総務省HP）

探検・発見・ほっとけん まちの縁側講座 in 芦田宿

～ 報告&座談会を開催します ～

高齢者支援係

日時：1月22日(月)
13:30～15:30 (13:00受付開始)

場所：老人福祉センター 集会室

- 内容：1. 9月開催のまちの縁側講座in芦田宿の振り返り
2. 蓼科高等学校地域コース3年生の取り組み
3. 「発見・わくわく」座談会
4. 交流会

備考：参加の申し込みは不要です。どなたでも参加できます。

問い合わせ先：たてしな“ずく”りの会事務局、高齢者支援係

電話0267-88-8406 有線4503 (担当:田中・土屋)

参加者募集!!

